

建築設備展2012

「未来の環境を考える」

建築設備展2012実行委員長 板見 孝太郎

建築設備展2012は「未来の環境を考える」をテーマに、昨年10月26日(金)・27日(土)にサンポート高松で開催されました。

3.11以降、出展社が減るなかでも34社の法人が61ブースを出展して頂き、何とか開催に至ることが出来ました。

併せて多くの企業、法人のご協力で多様なイベントも企画実行され、展示会を盛り上げて頂きました事を感謝申し上げます。



10月26日(金)、9時半よりオープニングセレモニーが行われ、当協会顧問 衆議院議員 平井卓也様、四国経済産業局 地域経済部次長 藤澤清隆様、中国四国地方環境事務所高松事務所 所長 足立晃一様、香川県総務部営繕課 課長 尾崎真悟様、高松市都市整備局次長 金本一成様、社団法人建築設備技術者協会 会長 川瀬貴晴様よりご挨拶を頂いた後、10時のテープカットで建築設備展2012がオープン致しました。



今回も賛助会の皆様の御協力で最新設備、省エネルギー等に関する機器の展示、講演会、体験教室が行われました。

サンポート高松での開催も今回で2回目となり、天候にも恵まれ、盛大に開催することが出来ました。

初日26日(金)は、例年同様に業界向けのセミナーと、社団法人日本設備設計事務所協会、業務委員長の坂東氏を迎え電気、空調、衛生設備、耐震の技術講習会が行われました。



最終日は9時30分からの絵画ポスター展の表彰式を皮切りに多種多彩なイベントが行われました。その中の幾つかのイベントを紹介します。

1. 絵画展示

毎年恒例の絵画コーナーでは、年々応募数も増え、レベルの高い力作ばかりです。

受賞者は、来年はもっといい賞を、今年残念だった人は入賞をと、子供たちの目標になって頂ければ幸いに思います。



2. きみともキャンディライブ

昨年同様、香川のご当地アイドルグループのミニライブに、子供たちから大人まで熱狂的なファンもいて、おおいに盛り上がったステージになりました。



3. かがわ源平紅白キャラパン隊

香川県内の観光情報をPRするために現代によみがえった「おもてなし(隊)」です。

オリジナルの歌やダンス、すてきなパフォーマンスで会場を盛り上げてくれました。



4. さぬきママプラス

その名の通り20歳～30歳の子育て中のママさんが集まって結成した吹奏楽団です。ステージではおなじみの曲の演奏を行い、会場はすてきな音色に包まれました。



5. カンバッジ作り

毎年四国ガスブースで行っているカンバッジ作りも、根強い人気があります。

みんなの好きなキャラクターや写真をバッジにして楽しんでいました。

6. 地震体験車。

高松市消防局の皆様にご協力を頂き、震度6、7の地震を体験することが出来ました。

来場者の多くの方々が興味を持ったコーナーでした。



7. 体験教室

子供料理教室では、焼きたての動物パンを、作り、「ソーラーカーを作ろう」ではその場で作って走らせていました。LED行灯工作教室では、少し難しそうでしたが、出来上がったら円錐型のかっこいい行灯が完成していました。「けんちくやさんのタイルアート」では、たくさんの親子がタイルを使ったデザインプレート作りを楽しんでいました。

その他にもスタンプラリーや、似顔絵コーナー等があり大盛況のうちに2日間の幕を閉じました。

二日間の入場者数は、初日637人、二日目2,831人、合計3,468人でした。

こうして通算で8回目の建築設備展も無事事故もなく終わることが出来ました。毎年終わった後は反省の日々ですが、7年連続して開催出来たことは、賛助会員様をはじめ関係各位の皆様の御助力の賜物と感謝しております。

本年は「最新設備を知って、みんなで今を考えよう！」をテーマに、サンポート高松にて、11月8、9日に「建築設備展2013」を開催いたします。

皆様のご来場をお待ちしております。

